

地 域 再 生 計 画

1. 地域再生計画の名称

岩美町「国立公園浦富海岸保全計画」

2. 地域再生計画の作成主体の名称

鳥取県岩美郡岩美町

3. 地域再生計画の地域

鳥取県岩美郡岩美町の全域

4. 地域再生計画の目標

岩美町は、鳥取県の最東北端に位置し、東は兵庫県に、北は日本海に面し、総面積は122.38km²、人口13,867人（平成17年3月31日現在）である。町を流れる河川は陸上川、吉田川、蒲生川水系に分かれそれぞれ北流し日本海に注いでいる。その海岸部は山陰海岸国立公園の景勝地である浦富海岸を中心に海水浴場やその他の景勝地が多く、美しい観光資源を有しており、毎年多数の観光客を集め観光拠点としての機能を果してきた。

しかし、近年は経済発展と生活様式の変化により河川の水質汚濁や自然環境の悪化が進み、浦富海岸をはじめとする観光資源への影響が懸念される状況にある。また、以前に比べ海水浴客等、観光客も減少傾向にあり以前のような活気も失われつつある。

町では、年々悪化している河川の水質を改善し、環境に配慮した景観形成に取り組むと同時に多彩な魅力を備えた観光圏の形成に取り組んでいる。生活排水を処理するために、一部の農村、漁村地域で集落排水事業を、公共下水道事業として大谷処理区及び平成10年度からは町の中心部において浦富処理区の整備を、その他の地域においては浄化槽の個人設置型事業を行なっているが、平成16年度末の汚水処理人口普及率は50.7%で全国平均（79.4%）より低い状況となっている。よって、本事業の交付金を活用し公共下水道の整備及び山間地域における浄化槽整備（個人設置型）の更なる推進を図っていきたい。

また、心にやすらぎと潤いを与える自然とのふれあい体験としてシュノーケルやイカ釣り体験を行っているほか、美しい海岸線を潮風をあびながら走る浦富海岸健康マラソン大会を開催しており、このような体験

を通じて美しい自然環境を再認識し環境保全意識の高揚を図っている。

そして、環境保全意識が芽生えることにより、今では地域住民による海岸清掃活動や終末処理場付近のコスモスロードなどボランティアによる環境美化活動が促進されており、恵み豊かな自然と共生し安らぎのある循環社会の更なる展開が期待される。その上で、河川の水質改善及び生活環境の改善を図り、自然と調和のとれた昔からの美しい景観、恵まれた自然環境を守ることで、「日本の渚100選」や「日本の水浴場88選」に選定された国立公園浦富海岸をはじめとする観光拠点地域の保全を目指す。

(目標1) 汚水処理施設の整備促進(汚水処理人口普及率を50.7%から65%に向上)

(目標2) 吉田川の水質保全(吉田川の水質 BOD1.7mg/Lを維持)

5. 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

汚水処理人口普及率を高めるため公共下水道により浦富、恩志、岩井、宇治、高山の一部を、浄化槽事業(個人設置型)により公共下水道及び集落排水処理区域外の地区を整備し、汚水処理施設整備の促進を図る。

5-2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

汚水処理施設整備交付金を活用する事業

【事業主体】

- ・岩美町

【施設の種類】

- ・公共下水道、浄化槽

【事業区域】

- ・公共下水道 岩美町浦富、恩志、岩井、宇治、高山の一部
- ・浄化槽 公共下水道、集落排水処理区域外の岩美町全域

【事業期間】

- ・公共下水道 平成18年度～平成22年度
- ・浄化槽 平成18年度～平成22年度

【整備量】

・公共下水道 $\phi 100 \sim 250$ L = 15, 000m

・淨化槽

18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	計
20基	20基	20基	20基	20基	100基

(内訳：5人槽…30基、7人槽…67基、10人槽…3基)

なお、各施設による新規の処理人口は下記のとおり

公共下水道 940人、浄化槽 313人

【事業費】

・公共下水道 924, 000千円

(うち単独 462, 000千円)

(うち国費 462, 000千円)

・浄化槽（個人設置型） 73, 828千円

(うち、国費 14, 087千円)

・合 計 997, 828千円

(うち単独 462, 000千円)

(うち国費 476, 087千円)

5-3 その他の事業

1. 浦富海岸での自然とのふれあい体験

「シュノーケル」や「イカ釣り」体験、砂浜でのビーチバレー大会や花火大会などのイベントを開催することにより自然とのふれあう機会を与え美しい浦富海岸を全国発信する。

また、「磯の観察会」など子供たちに磯の生き物等とふれあう機会をつくる。

2. 浦富海岸健康マラソン大会

潮風をあびて美しい浦富海岸の景観眺めながら走ることにより、自然環境の保全意識の高揚と青少年の健全育成、さらには参加者の安定的な確保と拡大を図る。

3. 自然愛護団体の育成

「自分たちの住むまちの美しさ」を再認識することにより環境保全意識が芽生え、住民の自発的な活動促進を図りボランティア団体の育成と拡充を促進する。活動内容の充実と活動回数や参加者を増やす。

6. 計画期間

平成18年度～22年度

7. 目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後に、4に示す数値目標等について関係行政機関により達成状況の評価、改善すべき事項の検討等を行うこととする。

8. 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし

添付資料の一覧（目 次）

- 区域図 ----- 1
- 工程表 ----- 2
- 工程表説明 ----- 3
- 整備箇所図 ----- 4

地域再生計画の工程表について

4. 汚水処理交付金の活用

① 公共下水道事業

現在、町が取り組んでいる国土交通省の事業と並行して、町の南東部の整備を平成18年度から平成22年度にかけて行なう。

具体的には、地積測量・管渠設計・管渠工事を行い、供用開始を促進する。

② 净化槽事業（個人設置型）

公共下水道事業整備区域及び集落排水事業整備区域を除く地域について、合併処理浄化槽（個人設置型）の整備を促進する。

5. 浦富海岸での自然とのふれあい体験

「シュノーケル」や「イカ釣り」体験、砂浜でのピーチバレー大会や花火大会などのイベントを開催することにより自然とのふれあう機会を与え美しい浦富海岸を全国発信する。

また、「磯の観察会」など子供たちに磯の生き物等とふれあう機会をつくる。

6. 浦富海岸健康マラソン大会

潮風をあびて美しい浦富海岸の景観を眺めながら走ることにより、自然環境の保全意識の高揚と青少年の健全育成、さらには参加者の安定的な確保と拡大を図る。

7. 自然愛護団体の育成

「自分たちの住むまちの美しさ」を再認識することにより環境保全意識が芽生え、住民の自発的な活動促進を図りボランティア団体の育成と拡充を促進する。活動内容の充実と活動回数や参加者を増やす。

地域再生計画の工程表

		岩美町			
		18年度	19年度	20年度	21年度
支援措置	名称				
汚水処理交付金の活用 ①公共下水道	岩井地区を一體的に面整備 事業年度平成18年度～22年度				
汚水処理交付金の活用 ②浄化槽(個人設置型)	公共下水道及び集落排水処理施設の区域外の地区 (主に蒲生・小田地区) 整備 事業年度 平成18年度～平成22年度				
ボランティア団体の育成	河川愛護活動の一層の推進を図り、美しい吉田川をつくる。 (住民の意識高揚と自発的活動を促す)				
浦富海岸健康マラソン	浦富海岸の自然にふれ、体力作りとともに自然環境の保全と美化、交流人口の拡大を図る				
関連事業					

魅力ある快適なまちづくり

